

## 2. 私たちの住むまちの素晴らしさ

### 2-1. 六甲山地の豊かな自然の恵み

六甲山地は、豊かな自然に恵まれた緑の森で、四季を通して、私たちを楽しませてくれます。しかし、江戸時代の末期には白い岩はだばかりが見え、荒れ果てた山だったといわれています。現在の緑あふれる六甲山地は、明治以降、人々の手によって木々が1本1本植えられ、100年以上の歳月によって再生されたものです。今、私たちの目に映る山なみは、かけがえのない財産です。

木々の種類や生き物も非常に豊富であり、古くから六甲山地は登山や散策の場として市民に利用されてきました。こうした山を散策すると、四季折々の植物などが楽しめます。



## 2-1-1. 六甲山地の緑



縄文時代の六甲山地の植物は、シイ、カシなどの照葉樹林（つやつやした厚い葉を持つ樹木）でした。

六甲山地は緑豊かな山でしたが、社寺林以外は、薪を得たり草を刈ったりして、自分たちの力ではもともにもどれないほど、樹木が切り出されました。明治初期には地表が見えてしまうほどになりました。もともと崩れやすい性質を持つ六甲山地は、風雨にさらされ荒れ果ててしまったのです。

その後、明治35年（1902年）から始まった緑をとりもどすための工事によって、六甲山地は植物の宝庫となりました。

有馬川地域周辺では、山頂付近でブナ、イヌブナ、ミズナラ、周辺の山や斜面ではアカマツ、ヤマツツジ、まちなかではツバキ、イヌビエなどが確認されています。

また、アリマウマノスズクサ、アリマグミ、アリマコスズなどの有馬固有の植物が見られます。

これらの植物は、たいへん貴重なので採取はしないでください。



六甲山地の緑の歴史



### 六甲山地は昔、草木のない山だったって知ってた？

緑豊かな六甲山地は、人口が増えるにしたがって、多くの薪や草が切り出され、草木のない山になりました。その後、明治35年（1902年）から緑をとりもどすための活動が始まり、ヤシャブシ類、ニセアカシア、マツ類、スギ、ヒノキ、クヌギ、カシ類などを中心とした植樹を進め、現在のように緑を回復させています。















私たちのまちの中では、どんな植物が見られるのかな？

有馬川周辺では、様々な植物を見ることができます。

有馬川周辺で見られる植物

春	写真の他、セリ、ギンギシ など		
			
	カラスノエンドウ	オオイヌノフグリ	ホトケノザ
			
	オオバコ	ヒメオドリコソウ	ハナウド
	夏	写真の他、イヌゴマ、イヌビエ など	
			
ジュズダマ		トクダミ	ヒルガオ
			
ツククサ		マツヨイグサ	ツルヨシ
秋		写真の他、カワラヨモギ、ススキ など	
			
	チカラシバ	シロヨメナ	ミソソバ
			
	ノブドウ	イヌタデ	ママコノシリヌグイ

(写真 : 「山田の里の野草花図鑑」山田の里グリーンクラブ)



六甲山地では、市街地では見られない植物を見ることができます。

六甲山地で見られる植物

春	写真の他、ヤマウゲイスカグラ、ヤシャブシ、ベニドウダン、クロモジ、オオカメノキ など				
					
	モチツツジ	ミヤマシキミ	ギンリョウソウ	シハイスミレ	
					
	コバノミツバツツジ	タムシバ	マンサク	ヤブツバキ	
	夏	写真の他、ホツツジ、ナツハゼ、ウチョウラン、イワカガミ など			
					
		コガクウツギ	コアジサイ	ササユリ	ヤブウツギ
					
パイカツジ		ヤマアジサイ	ミヤマハハソ	イワタバコ	
秋		写真の他、イナカギク、コメナモミ など			
					
		ミカエリソウ	ツリフネソウ	シラネセンキュウ	ツルリンドウ
					
	ヤマジノホトギス	アケボノソウ	ミヤコザサ	マムシグサ	



いろいろな場所で見られる、様々な植物を観察してみよう！  
注) とっていいのは写真だけ、採取しないで観察しましょう！



植物の宝庫といわれる六甲山地には、多くの植物学者が訪れているんだよ！

六甲山地は、その最高峰が931mと、わが国の山々の中ではそれほど高い山ではありませんが、生えている植物の種類が約1,700種もあり、植物の宝庫ともいわれています。

植物には、暖かい気候を好むものや寒い気候に適するものなどがありますが、六甲山地では、これらが同じ場所で育っているのが見られます。また、六甲山地は花こう岩や流紋岩<sup>りゅうもんがん</sup>でできているため、酸性の土を好む植物の種類が多いのも、特徴の1つです。

そのため、珍しい植物<sup>めずらしい</sup>があり、多くの植物学者が六甲山地を訪れ植物採取<sup>おとす</sup>などを行っています。

たなかよしお

田中芳男（1838年～1916年）



(写真: 国立国会図書館)

田中芳男は、幕末から明治期に活躍した博物学者です。博物学の教育につとめ、パリやウィーンなどで行われた万国博覧会<sup>ばんこくはらんかい</sup>に参加しています。

まきのとみたるう

牧野富太郎（1862年～1957年）



(写真: 国立国会図書館)

牧野富太郎は、「日本の植物学の父」といわれ、多数の新種を発見し、命名も行った植物学者の第一人者です。「アリマ」と名の付く植物も命名しました。その研究成果は、50万点もの標本や観察記録、多数の資料として残っています。田中芳男とは、本の貸し借りをするなど親しく交友<sup>した</sup>がありました。



有馬山植物一班(68.5×136cm)

ありまやましよくぶついつぱん

有馬山植物一班

明治36年（1903年）、田中芳男が愛宕山<sup>あたごやま</sup>で採取したシャシャンボなどの草木の葉の様子を版画にしたものです。その実物は有馬小学校に保管されていましたが、現在は神戸市立森林植物園に移管され、必要に応じて展示されます（2013年3月時点）。





## 「アリマ」と名の付く植物があるんだよ！

植物の種類が多い六甲山には、この山の特産植物ともいえる<sup>めづら</sup>珍しい植物もいくつかあります。その中のいくつかには、有馬のまちで発見され「アリマ」という名が付けられたものがあります。

### 【アリマウマノスズクサ(ウマノスズクサ科)】

- ・昭和11年（1936年）6月に植物学者の<sup>まきの とみたろう</sup>牧野富太郎が発見し、命名しました。
- ・花の形が<sup>きばつ</sup>奇抜で、<sup>つのぶえ</sup>角笛のような長いガクがあり、その内側にはピロード状の短い毛がたくさん生えています。アリマウマノスズクサは、この内側が<sup>むらさき</sup>こい紫色で、他のウマノスズクサとは<sup>こと</sup>異なっています。また、葉は「ミッキーマウス」のような<sup>とくちょう</sup>特徴的な形をしています。



アリマウマノスズクサ



アリماغミ

### 【アリماغミ(グミ科)】

- ・昭和2年（1927年）に有馬の<sup>むらかみ せんたろう</sup>村上仙太郎が発見し、牧野富太郎によってアリماغミと名が付けられました。
- ・アリماغミは、東は静岡県から西は有馬付近に自生しています。この辺りでは数少ない植物です。

### 【アリマコスズ(イネ科)】

- ・<sup>くき</sup>茎や葉の付け根に短い毛が密に生えているのが特徴です。
- ・産地が限られており、たいへん<sup>きちょう</sup>貴重なもので、主にアカマツ林の<sup>りんしょう</sup>林床に生育しています。



アリマコスズ

### 【アリマシノ(タケ科)】

- ・昭和8年（1933年）に有馬町東部で<sup>よしの ぜんすけ</sup>吉野善介（植物学者）によって発見されたものです。
- ・筆の軸の<sup>じく</sup>材料として最高の素材とされています。



アリマシノ



「アリマ」と名の付く植物を森林植物園に見に行ってみよう！



### 六甲の名花「<sup>まぼろし</sup>幻の花」シチダンカって知ってる？

シチダンカは「幻の花」「幻のアジサイ」といわれています。その理由は、江戸時代にシーボルトがヨーロッパで「<sup>し</sup>日本植物誌」の中に紹介して以来、だれもその実物を見たことがなかったからです。しかし、昭和34年（1959年）に六甲ケーブル山頂駅から下った所で再発見されました。それは、シーボルトが紹介して以来、約130年ぶりのことでした。

シチダンカは、炭屋道の入口付近に植えられていて、<sup>ちゅうじゆん</sup>6月中旬～<sup>げじゆん</sup>下旬にかけて見ごろを<sup>むか</sup>迎えます。



シチダンカ

(出典:あじさいを楽しむ)



### 六甲山には<sup>きちょう</sup>貴重なブナ林が見られるんだよ！

六甲山の<sup>もみじだに</sup>紅葉谷標高800m付近には、貴重なブナの自然林が広がっています。六甲山に残された自然のブナは100本余りで、そのうちの半分以上は紅葉谷の上部で見られます。

ブナは、深く張った根の保水能力が高いことから「緑のダム」、枝葉が大きく広がり葉も多いため二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）をよく<sup>きゅうしゅう</sup>吸収することから「<sup>せいじょうき</sup>空気の清浄機」、じゅうたんのよう<sup>きゅうしゅう</sup>に積もる落ち葉が土を豊かにすることから「森の母」とも呼ばれます。自然保全に欠かせない六甲山のブナを守り増やそうと、森林ボランティア団体などによって<sup>しょくじゆ</sup>植樹などの活動が行われています。



六甲山地のブナ林

(写真:神戸市)



私たちのまちに残る貴重な植物を調べてみよう！

注) にとっていいのは写真だけ、採取しないで観察しましょう！



## 2-1-2. 六甲から有馬川周辺の生き物たち



六甲から有馬川周辺にはどんな生き物があるのかな？

六甲山から有馬川周辺にかけて、いろいろな生き物が見られます。

### 有馬川周辺で見られる生き物

写真の他、キジバト、アオゲラ、ツバメ など

鳥



カワセミ



ジョウビタキ



シジュウカラ



メジロ

写真の他、クマゼミ、コシアキトンボ など

昆虫



ゲンジボタル



エンマコオロギ



アブラゼミ



アメンボ

写真の他、アユ、アメリカザリガニ など

魚など



オイカワ



フナ



カワニナ



ギョリキマイマイ

(写真: 兵庫県立人と自然の博物館)



六甲山地で見られる生き物

鳥・けものなど

写真の他、アライグマ、キツネ、コゲラ、サシバ、サル など



イノシシ



タヌキ



スミスネズミ

(写真:兵庫県立人と自然の博物館)



エナガ



ウグイス



ルリビタキ



オオルリ



モズ

昆虫

写真の他、カブトムシ、アサギマダラ、ギフチョウなど



キアゲハ



エゾゼミ



ハルゼミ



ヒグラシ



キベリハムシ



モンキアゲハ



ツマキチョウ



ジャコウアゲハ

魚など

写真の他、オイカワ、ヒダサンショウウオ など



カワムツ



カワヨシノボリ



ニホンヤモリ



タゴガエル



モリアオガエル



ドジョウ



イモリ



アカザ

(写真: ちょう 神戸市の蝶・お気に入りの蝶)

私たちのまちには、まだまだ多くの自然が残っており、様々な植物や動物が見られます。しかし近年は、国外から来た帰化植物が多くなったり、池などでは外来種の魚が放流され、昔から住んでいた生き物の数が減るなど、生態系が変わってきています。



私たちのまちや山の自然を守っていくためには、どうしたらいいの？  
家族や友達と一緒に考えてみよう！



### 「地球温暖化を教えてくれる小動物」って知ってる？

地球温暖化が進むと、異常気象が起きる回数が増えるなど、自然環境に様々な影響をあたえるといわれています。動物は、自分たちに合った条件の場所で生きていこうとするので、環境の変化に対して敏感に反応し、住む場所を変えています。

私たちのまちでも地球温暖化の影響などにより、以前はあまり見られなかった熱帯系のナガサキアゲハ、台湾ウチワヤンマ、ツマグロヒョウモン、クマゼミなどを、よく見かけるようになりました。



ナガサキアゲハ

(写真: 神戸市の蝶・お気に入りの蝶)



台湾ウチワヤンマ



ツマグロヒョウモン

(写真: 神戸市の蝶・お気に入りの蝶)



クマゼミ



### だんだん見られなくなっている生き物がいるんだよ！

神戸市は、人口150万人を超える大都市である一方で、緑豊かな六甲山をはじめ、青い海と多くの河川、豊かな田園地帯を持つ、自然に恵まれた都市でもあります。しかし、人間の生活が地球規模で影響を与える時代となり、私たちの行動が原因となる自然環境の破壊や、生き物の減少・絶滅が進行しています。

有馬川周辺では、カスミサンショウウオやモリアオガエル、スミスネズミなどの生き物が見られなくなりつつあります。



カスミサンショウウオ



モリアオガエル



スミスネズミ

(写真: 兵庫県立人と自然の博物館)



カスミサンショウウオは、有馬富士公園で見られるんだよ！  
見に行ってみよう！



## 2-1-3. 有馬の温泉



私たちのまちの顔ともいえる有馬温泉は、日本の三名泉に選ばれるなど、古くから観光客や地域の人々に親しまれています。

また、有馬温泉は、国が療養泉として指定している9つの主成分のうち、7つもの成分が含まれており、世界的にも珍しい、多くの成分が混合した温泉です。



有馬温泉は日本三名泉であり、日本三古泉の1つなんだよ！

有馬温泉は、日本で最も古い温泉の1つです。すなわち、人がまだ土を掘る技術を持たない時代より大地の恵みを蓄え、湧き出していた自然の温泉であるということです。そして、日本三名泉と日本三古泉の両方に名を連ねる温泉として、古くから多くの人々に親しまれています。

## 【日本三名泉】

有馬温泉（兵庫県）、草津温泉（群馬県）、下呂温泉（岐阜県）の三つの温泉を「日本三名泉」と呼んでいます。徳川家康以下4代将軍に仕えた儒学者・林羅山が、有馬温泉にて作った「詩文集第三」に由来します。



有馬温泉 (写真: 神戸市)



草津温泉  
(写真: 草津温泉観光協会)



下呂温泉  
(写真: 下呂市観光課)

## 【日本三古泉】

有馬温泉（兵庫県）、白浜温泉（和歌山県）、道後温泉（愛媛県）の三つの温泉を「日本三古泉」と呼んでいます。「日本書紀」に舒明天皇や、孝徳天皇が来湯したことが書かれています。



有馬温泉  
(写真: 神戸市)



白浜温泉  
(写真: 白浜観光協会)



道後温泉  
(写真: 松山観光コンベンション協会)



有馬温泉には泉質の異なる多くの泉源が、狭い範囲に集中しているんだよ！

有馬温泉は、狭い地域に多くの種類の温泉が湧くことで有名です。泉質は、鉄分を多く含む「金泉（赤湯）」、二酸化炭素が溶け込んだ「銀泉」、放射性物質の一つであるラジウムを多く含む「ラジウム泉」、天然の炭酸水の「炭酸泉」などがよく知られています。

炭酸泉は、炭酸せんべいやサイダーに利用され有馬の名物となっています。また、温泉が湧き出す泉源は有馬のまちなかに多数あり、近くで見られるものもあります。



泉源の位置

### 【現在近くで見られる泉源】



① 太閤泉源 (飲泉場)



② 天神泉源



⑦ 有明泉源



③ 極楽泉源



④ 御所泉源



⑤ 炭酸泉源 (炭酸水湧出場)



⑥ 妬泉源 (左:現在、右:昭和30年)



有馬のまちに高温の温泉が湧き出るのは、海洋プレートと関係あるんだよ！

有馬川地域には活火山が無いのに、どうして有馬温泉は80 もの高温泉なのか、最近まで謎でしたが、平成24年（2012年）9月、国の研究機関である産業技術研究所が、これまでの研究結果として、有馬温泉の仕組みを次のように公表しています。

### 【有馬温泉の仕組み】

海洋プレート（4P参照）は、海水を取り込んで地下に潜り込みますが、深く潜るにつれて高い圧力を受け、熱水が海洋プレートから上部へ抜け出ます。この熱水は深さ100 km以上の地点では岩石を溶かしてマグマを造ります。

しかし、有馬川地域など、地下100 kmより浅い地点では熱水のまま地上に向かって上昇し、地下水と混ざりつつ断層などの大地の割れ目をぬって地表まで上昇しています。



有馬温泉の仕組みのイメージ

(参考: 産業技術研究所公表資料より作成)





### 虫地獄や鳥地獄と呼ばれる場所があるんだよ！

あたごやま いばやま  
愛宕山と射場山のふもとが接している谷を、じごくだに  
地獄谷と呼んでいます。昔、この谷にあ  
る岩の割れ目やくぼ地からは炭酸ガスが噴き出していたため、近寄ってきた虫や鳥が窒  
息してしまい、死骸が散らばっていました。また、「血の池」と呼ばれる茶色く濁った  
池もありました。まさに地獄のようなその光景を見た人たちが「地獄谷」、「虫地獄」、  
「鳥地獄」と呼ぶようになったとされています。今は炭酸ガスは噴き出しておらず、虫地  
獄や鳥地獄と呼ばれた場所には石碑が建てられています。



虫地獄



鳥地獄



### 六甲山鳴動で温泉の温度が上がったことがあるんだよ！

明治32年（1899年）7月から、「六甲山鳴動」といわれる地震のような揺れと音が続きました。そして、40度の温泉が翌年10月には50度まで上がり、湯の量も増えました。大地震の前ぶれかと心配されましたが、調査の結果、問題ないということがわかりました。そのため、六甲山鳴動により増えた温泉を利用して、高等温泉と呼ばれる浴場が、現在の阪急バス有馬案内所の辺りに設置されていました。



高等温泉(明治36年:1903年)

(出典:神戸市立博物館蔵)



### まちの中にある泉源に行ってみよう！

## 2-1-4. 市民や観光客に親しまれる散策コース



マップ 16 17 27

有馬川地域には、山や川などの豊かな自然、有馬温泉に代表される歴史・文化があり、地域の住民だけでなく観光客にも親しまれる場所です。そのため、魅力ある自然や歴史をより楽しむために、目的や楽しみ方に応じてたくさんの散策コースがつけられています。神戸市北区では、歴史散歩から山登りまで、33のコースを選定しています（平成25年（2013年）3月時点）。有馬川地域では、道場町周辺のまち歩きコースや落葉山や灰形山の山頂を巡る登山コースなど、いくつかのルートが選定されています。また、有馬温泉周辺では、観光目的に応じた散策ルートが設定されています。

## 宿場町道場・北神戸田園スポーツ公園コース（北区ハイキングコース）

神鉄道場駅から、松原城址や宿場町の名残がある道場町のまちなみ、二郎駅周辺の田畑を通り、北神戸田園スポーツ公園に向かうコースです。

## 散策コースの主なみどころ

A



松原城址

昔、神鉄道場駅のすぐ東の丘には「松原城」別名たんぼぼ城といわれるお城がありました。たんぼぼは「つづみ草」とも呼ばれ、城主の娘が鼓の名手であったことに由来していると伝えられています。

B



道場町のまちなみ

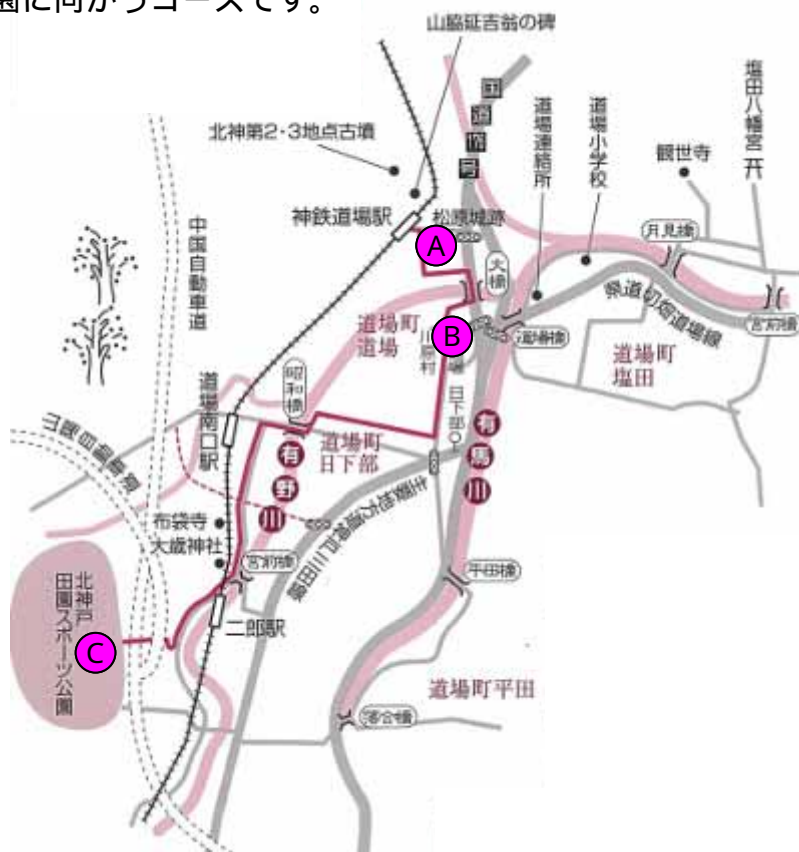
道場は古くから人の行き来が盛んだったため、宿場町として発展しました。その名残が町なみからうかがえます。

C



北神戸田園スポーツ公園

神戸市北区有野町と八多町にまたがる田園や山里に囲まれた豊かな自然の中にあります。あじさいスタジアム（野球場）や体育館があり、様々なスポーツが楽しめます。



散策コース（出典：北区民まちづくり会議）





有馬川中流にも有馬川の散策コースがあるんだよ！

有馬川中流の、和紙と竹細工の町として知られていた西宮市山口町では、地域資源の再発見と健康づくり  
に役立つ散策コースとして、有馬川緑道を活用した「有馬川コース」(5.8km)を設けています。

有馬川中流地域の自然や歴史が楽しめるほか、地域の歴史を物語るあかしを見てまわることができます。



有馬川緑道

(写真:地域ポータルサイト「西宮流」)

散策コースの隠れたみどころ



A 駅前橋

公智神社の前の道路を挟んで、駅前橋という変わった名前の橋があります。まわりに駅は見当たりません。どうしてでしょう。答えは48ページ！



B 流通東体育館

流通センターの東にある流通東体育館では屋内スポーツやテニスが楽しめます。阪神・淡路大震災の際には、支援物資を蓄える拠点となっていました。



各バス停へはJR西宮名塩駅から阪急バスが出ています。「すみれ台」「岡場」「有馬」行きなど

散策コース

(出典:にしのみやわがまち発見健康ウォーキングマップ(塩瀬・山口地区))



「有馬温泉癒しの森」と呼ばれる、自然散策が楽しめる道があるんだよ！

私たちのまちの豊かな自然をより親しみ楽しめるよう、有馬町自治協議会と兵庫県では有馬温泉周辺の六甲山一体を「有馬温泉癒しの森」と名付け、遊歩道を整備し、解説板や休憩所を設けています。名湯有馬の湯とともに、この森での森林浴・イオン浴・運動浴・色彩浴などが楽しめます。



散策コース

(出典:有馬温泉癒しの森散策マップ)

散策コースのみどころ



① 展望デッキからの眺め

ふでやみち筆屋道にある展望デッキからは、有馬富士（三田市）を眺めることができます。



② 太鼓滝

たいこだき太鼓滝は散策コースから気軽に見ることのできる、5m程の滝です。



山を歩く時には、注意しなくちゃいけないことがあるんだよ！

- 火を使わない！
- 動物にえさをやらない！
- ゴミは持ち帰る！
- とっていいのは写真だけ、採取しないで観察しましょう！
- マムシ、ヤマカガシ、スズメバチなどに会ったら要注意！



自然散策コースを歩いてみよう！



## 2-2. 私たちのまちの暮らしの歴史

有馬川の流れる私たちのまちは、上流と中流～下流で異なった発展をしてきました。上流は、日本最古の温泉地の一つであり、また豊臣秀吉がこよなく愛した名湯でもある「有馬温泉」を中心として古くから発展してきた地域です。

中流～下流は、近年神戸リサーチパークや住宅団地などの大規模な開発が行われ、住宅団地や工業団地が開発されている新しい地域です。また、開発が進む一方で、伝統ある神社や仏閣が残り、豊かな田園や農地が広がる地域でもあります。

有馬川を中心に上流から下流にかけて、それぞれ特徴的なまちの暮らしの歴史をみることができます。



有馬川上流(神戸市北区有馬町周辺)



有馬川中流(西宮市山口町周辺)



## 2-2-1. 歴史あふれる温泉のまち



私たちのまちは、日本の三名泉の1つとして古くから多くの人たちに親しまれてきた歴史ある温泉街です。江戸時代には、温泉を相撲の番付に見立てて格付けした温泉番付がつくられ、その中で有馬温泉は最も格の高い「西の大関」として記されるなど、全国的に名が知られていました。

有馬温泉が開かれたのは大変古く、神話の時代にさかのぼるとされています。その後、災害や戦乱などで何度も大きな被害を受けましたが、そのたびに見事な復興をなすとげ、今でも日本を代表する名湯として、多くの人を魅了し続けています。



有馬温泉の町なみ

温泉番付 (出典: 神戸市立博物館蔵)



### 有馬温泉は神様が発見したという伝説があるんだよ！

伝説によると、遠く神話の時代、大己貴命と少彦名命の二神が有馬に来られた時、三羽の傷ついたカラスが水たまりで水浴びをしているのをごらんになりました。その鳥の傷が治ったのを、不思議に思った二神が調べると、この水たまりが、病気やけがにきく温泉であることがわかりました。これが今の有馬温泉の始まりといわれています。



本殿に飾られた三羽のカラス



二神が祀られている湯泉神社





### 有馬温泉には3人の恩人があるんだよ！

温泉街として発展してきた有馬温泉は、<sup>ぎょうき ぼさつ</sup>行基菩薩、<sup>じんさいしやうにん</sup>仁西上人、<sup>とよとみ ひでよし</sup>豊臣秀吉の3人の働きによって支えられてきました。今では有馬の三恩人として大切に語り継がれています。

#### 行基菩薩（奈良時代）



<sup>なら</sup>奈良時代に東大寺・大仏の建設に力をつくしたことや、農業用水路や橋の建設などの社会事業に努めたことで菩薩の称号を与えられた僧です。有馬温泉を復興し、724年に一寺三院（<sup>おんせんじ</sup>温泉寺・<sup>ぼだいいん</sup>菩提院・<sup>らんにかいん</sup>蘭如院・<sup>せやくいん</sup>施薬院）を建てました。また、行基菩薩は、入浴が高貴な人のみの特権であったのに対して、身を清潔にすることを民衆に教えたといわれています。

#### 仁西上人（平安時代）



平安時代の中ごろの<sup>こうずい</sup>洪水によって荒廃していた有馬温泉を、夢のお告げを受けて復興した、吉野（現在の奈良県）の僧です。1191年に、温泉寺の本尊である<sup>ほんぞん</sup>薬師如来を守<sup>ご</sup>護する十二神将にちなんで、十二の坊舎（お坊さんの住まい）を建て、旅人や病人を受け入れました。現在の有馬温泉にも「坊」と名の付いた旅館が多いのは、この時の名残とされています。

#### 豊臣秀吉（安土桃山時代）



<sup>あづちももやま</sup>安土桃山時代に天下を統一した<sup>ぶしやう</sup>武将で、洪水や大火災で再び荒廃していた有馬温泉を、手厚い<sup>ほご</sup>保護と<sup>えんじょ</sup>援助を行い復興した人物です。洪水の多い六甲川の付け替えや、<sup>せんげん</sup>泉源の保護工事などを行いました。これらの工事によって、その後起きた水害の被害は最小限に<sup>い</sup>くい止められました。

また、有馬の湯を愛した豊臣秀吉は、体を癒すためにたびたび訪れては入浴し、その際には茶会を開き楽しみました。1590年には、<sup>あみだどう</sup>阿弥陀堂（現在の利休荘）において、<sup>せんりのきゆう</sup>千利休、<sup>こばやかかわ たかかげ</sup>小早川隆景、<sup>ありま ほういん</sup>有馬法印などと大茶会を開きました。



まちのなかに三恩人に関するものや場所がたくさんあるよ！  
見に行ってみよう！

## 2-2-2. 神戸のベッドタウン



有馬川中流～下流の神戸市長尾町や有野町、西宮市山口町などでは、昭和3年（1928年）の神戸有馬電気鉄道（現在の神戸電鉄）三田線の開通などにより交通の利便性が向上したため、急速に人の行き来が増えるとともに住宅団地や工業団地が開発され、神戸のベッドタウンとなっています。



神戸三田国際公園都市として計画的にまちがつくられているんだよ！

神戸市北区の藤原台・リサーチパーク（鹿の子台・上津台・赤松台）、三田市のフラワータウン・カルチャータウン・ウッディタウン・北摂三田テクノパーク・北摂三田第2テクノパークをあわせて“神戸三田”国際公園都市といいます。快適に暮らせる空間と、働き、学び、憩い、かつ交流する質の高い都市機能を兼ね備えた複合機能都市をめざして、計画的な住宅地や産業拠点が開発されています。

また、周辺には北神戸田園スポーツ公園や神戸市立フルーツ・フラワーパークなど大規模な公園も充実しており、快適な環境が整っています。



住宅団地の様子  
(鹿の子台)



北神戸田園スポーツ公園



神戸市立フルーツ・フラワーパーク





### 開発が進む一方で、自然や歴史もたくさん残されているんだよ！

長尾町や有野町では住宅地の開発が進む一方で、自然や歴史を大切にしたまちづくりが進められています。そのため、田んぼや畑などの農地や神社などの歴史的な建物が多く残されています。特に、有間神社や明徳寺などの神社やお寺、ツブラジイ群落などの自然、二郎地区のイチゴ栽培などが有名です。

また、道場町では土器や遺構（古代の住居などの跡）が発見されるなど、太古の時代から栄えてきたあかしや、宿場町として栄えた歴史や伝統が残されています。



明徳寺



二郎のいちご (写真提供 神戸市)



ツブラジイ群落(有間神社)



道場町のまちなみ



### 「鹿の子」の由来って知ってる？

鹿の子台という地名は、このニュー・タウン西側の「鹿の子谷」にちなんで付けられたものです。

伝説によると、昔、傷ついた鹿の子どもが泉で水浴びをしていました。すると、鹿の子どもが傷がなおったため、それを見た狩人は、その泉が薬効のある温泉であることに気づきました。それから、温泉を鹿の子温泉、泉のある谷を鹿の子谷と呼ぶようになったそうです。このような伝説とともに、現在も鹿の子温泉や鹿の子台としてその名をとどめています。



鹿の子が傷をなおす(イメージ)

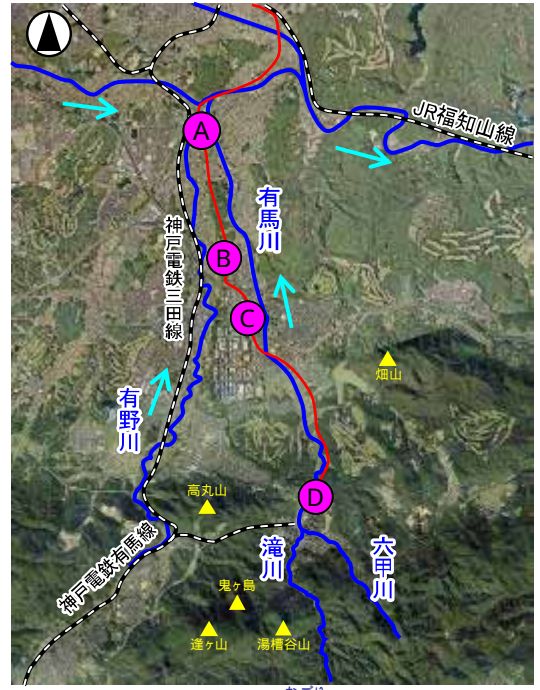


有馬川の流れて沿って汽車が走っていたんだよ！

昭和18年（1943年）まで、有馬川に沿って有馬と三田を結ぶ「国鉄有馬線」があり、小さな機関車や客車が走っていました。太平洋戦争が激しくなり、有馬温泉の観光客のための路線でもあったことから運行休止となり、鉄道施設などは転用されてしまいましたが、現在もその面影がわずかに残されています。



国鉄有馬線開通記念式(大正4年:1915年)



国鉄有馬線の軌跡と名残が見られる場所

国鉄有馬線の名残



① コンクリートの橋台



③ 公智神社前にある駅前橋  
(左:現在、右:昭和初期)



② 築堤の跡



④ 有馬駅前の乙倉橋 (出典:神戸市立博物館蔵)  
(左:現在、右:大正4年(1915年)ごろ)

昔、公智神社の前には線路が通り、駅がありました。そのため、駅前橋という名前の橋が残っています。

昔は有馬川に架かる乙倉橋を渡ると、立派な駅舎の有馬駅がありました。今は病院になっています。



まちの中に残る国鉄有馬線の名残を探してみよう！



## 2-2-3. 芸術・文化のまち



有馬のまちの風景や文化などの素晴らしさは、多くの人に愛されてきました。そして、その素晴らしさは文化人によって、絵や本など様々な形で表現されています。



有馬のまちの素晴らしい風景を描いた絵があるんだよ！

有馬のまちの素晴らしい風景は、古くから有馬六景や有馬十二景として描かれ、多くの人たちに楽しまれています。

## 【有馬六景】

有馬のまちの素晴らしさを多くの人に伝えるため、有馬の六つの風景を絵と詩によって表現しています。1753年と1766年の大火によりさびれた有馬温泉でしたが、これによって、再び多くの人が訪れるようになり、にぎやかさを取り戻しました。

鼓が滝（滝とまわりの美しさ）  
 有明桜（鼓が滝に至る道の山桜）  
 功地山秋月（射場山の秋の月）  
 落葉山（山頂の夕映えの景色）  
 温泉寺晩鐘（温泉寺の晩鐘の音）  
 有馬富士（朝霧に浮かぶ山の姿）



有馬富士に関する風景画と詩



朝霧に浮かぶ有馬富士



ねねの立像の背後に展示されている有馬六景



有馬六景に描かれた場所を見に行ってみよう！



有馬温泉にゆかりのある文化人にはどのような人がいるのかな？

ひらが げんない  
平賀源内 ( 1728年 ~ 1780年 )



(出典:平賀源内先生顕彰会)

江戸時代中ごろに地質学者や医者、俳人、蘭画家、発明家などとして、様々な分野で活躍した人物です。俳号は「季山」で、友人とともに有馬を中心とした旅について記した「有馬記行」を残しています。

こう だろはん  
幸田露伴 ( 1867年 ~ 1947年 )



(写真:日本近代文学館)

日本の小説家。代表作に「風流伝」「五重塔」「運命」などがあげられます。明治23年(1890年)に友人である高橋太華とともに京都から有馬を訪れ、「まき筆日記」を残しています。その際に泊まった旅館「下大坊」は、現在では薬局となっています。



かつて旅館「下大坊」であった薬局

たにざき じゅんいちろう  
谷崎潤一郎 ( 1886年 ~ 1965年 )



(写真:谷崎潤一郎記念館所蔵)

明治後期から戦後にかけて活躍した小説家で、大正12年(1923年)の関東大震災ののちに、関西へ移住しました。代表作に「刺青」「細雪」「鍵」などがあげられます。有馬温泉にたびたび訪れて執筆しており、小説「猫と庄造と二人のをんな」には旅館「御所坊」が登場します。

御所坊の建物は谷崎が訪れた当時から変わっていません。そのため、谷崎が好んだ雰囲気が残されており、研究家による勉強会などが開かれたりしています。



小説「猫と庄造と二人のをんな」の中に登場する旅館「御所坊」

(写真:御所坊)



文化人や文学作品と関わりのある場所を巡ってみよう！





### 有馬のまちにはどんな博物館や資料館があるのかな？

有馬のまちには太閤の湯殿館や切手文化博物館などの博物館や資料館があります。有馬の郷土資料だけでなく、文化・芸術に関する多くの作品や資料が展示されています。

	太閤の湯殿館 たいこう ゆどの	有馬切手文化博物館
写真		
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阪神・淡路大震災でこわれた有馬温泉・極楽寺の台所の下から、豊臣秀吉が造らせた「湯山御殿」の一部と見られる遺跡が発見されました。</li> <li>・ これらの遺跡と出土した瓦や茶器などを保存・公開するとともに、秀吉がこよなく愛した有馬温泉の歴史と文化を紹介しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本では明治4年（1871年）、郵便制度の制定とともに4種類の切手が発行されました。郵便創業時に発行され、現在最も貴重なコレクションといわれる手彫切手を収蔵しています。</li> <li>・ さらに140年余りの間に発行された普通切手・記念切手を発行年代順・系統的に収集・展示した、日本初の本格的な切手の常設博物館です。</li> </ul>
備考	<p>開館時間：9:00～17:00 （入館は16:30まで）</p> <p>休館日：第2水曜日</p> <p>料金：一般 200円 児童及び生徒 100円</p> <p>電話番号：078-904-4304</p>	<p>開館時間：10:00～16:00 （入館は15:30まで）</p> <p>休館日：火曜日（祝日の場合は翌日休）</p> <p>料金：大人500円 中・高生200円 小学生以下無料</p> <p>電話番号：078-904-0024</p>

注意）閉館時間など変わっている場合がありますので、直接確かめてください（平成25年（2013年）3月時点）



私たちのまちのなかには、博物館や資料館などがたくさんあるよ！  
見に行ってみよう！

## 2-2-4. まちの歴史を語る様々な「あかし」



















私たちのまちには、まちの歴史を物語る「あかし」が、数多くあるんだよ！

あなたの知っている場所に を付けてみよう。

遺跡 寺社など	① とうせんじんじゃ 湯泉神社	② おんせんじ 温泉寺	③ ねんぶつじ 念仏寺	④ りんけいじ 林溪寺
チェック				
遺跡 寺社など	⑤ ぜんぶくじ 善福寺	⑥ ごらくじ 極楽寺	⑦ みょうけんじ 妙見寺	⑧ いなりじんじゃ 稲荷神社
チェック				
遺跡 寺社など	⑨ ありまじんじゃ 有間神社	⑩ おおとしじんじゃ 大歳神社	⑪ こうちじんじゃ 公智神社	⑫ あおいしこふん 青石古墳
チェック				

こうしたまちの「遺跡・寺社など」が残っていることには、当時の人々の「願い」や「いわれ」などが背景にあり、後の時代に伝えようとした思いがあります。



歴史を物語るあかし	13 <small>しどく</small> 虫地獄・鳥地獄	14 <small>つづみがたき</small> 鼓が滝	15 <small>たかつか</small> 高塚の清水	16 <small>がめ おたき</small> 亀の尾瀧
				
チェック				
歴史を物語るあかし	17 <small>ずいほうじ</small> 瑞宝寺公園・石の碁盤	18 <small>もみじだに</small> 紅葉谷	19 <small>ととやみち</small> 魚屋道	20 <small>すみやみち すみがまあと</small> 炭屋道(炭窯跡)
				
チェック				
歴史を物語るあかし	21 駅前橋	22 橋台 (旧国鉄有馬線)	23 有馬駅前 (旧国鉄有馬線)	24 <small>みずなしだに みずなしだき</small> 水無谷・水無滝
				
チェック				
歴史を物語るあかし	25 <small>しょうじ</small> 松原城址	26 <small>はくすいきょう</small> 白水峡	27 <small>ずいなんひ</small> 水難碑	28 <small>さほうえんてい</small> 砂防堰堤
				
チェック				



知らない歴史の「あかし」は、家族と一緒いっしょに歩いて確かめてみよう！



主な「あかし」位置図





### 湯泉神社

有馬温泉を最初に発見したといわれる大己貴命、少彦名命と熊野久須美命が祀られています。平安時代の「延喜式（昔の法令のひとつ）」には、有間神社、公智神社、とならんで「湯泉神社（ゆのじんじゃ）」と記載されています。毎年一月には入初式（64P参照）が行われます。



湯泉神社

### 温泉寺

奈良時代に行基菩薩が、温泉の湧いていた横にお堂を建て、薬師如来の像を祀ったのが温泉寺の始まりといわれています。その後、山崩れや火災にあいますが、仁西上人や豊臣秀吉の妻、北政所（ねね）により建て直されました。わかっているだけでも、4度火災にあっており、今の薬師堂は、約200年前に建てられたものといわれています。



温泉寺

### 念仏寺

浄土宗の寺で、阿弥陀如来立像が祀られています。寺の庭は「沙羅樹園」とよばれ、樹齢が250年を超えるといわれる大きな沙羅双樹があり、毎年6月には美しい白い花を咲かせます。



念仏寺

### 林溪寺

湯泉神社や温泉寺とともに子授けの寺として有名です。1601年、落葉山のふもとに池の坊法順が開いたと伝えられる浄土真宗大谷派の古いお寺で、江戸時代には東本願寺別院として「有馬御坊」と呼ばれていました。



林溪寺



林溪寺には、「未開紅」と名付けられた梅があっただよ！

境内に「未開紅」という樹齢200年以上の紅梅の古木がありました。この名前の起こりは、1781年、乗如上人（本願寺の門主）が有馬入湯の時に、梅の蕾の紅色がとても深く、美しい姿を見て名付けたといわれています。毎年3月下旬になると、紅色の美しい一重の花が咲きました。



未開紅(梅)  
(昭和40年(1965年)ごろ)

### ぜんぶくじ 善福寺

おちばやま

落葉山のふもとにあるお寺です。庭にある糸桜は神戸市  
の名木に選ばれるなど、訪れた人を楽しませてくれます。  
また、お寺にはインドで作られた阿弥陀如来の像や、重要  
文化財となっている鎌倉時代に作られた聖徳太子の子どもの  
ころの像があります。豊臣秀吉が干利休に作らせたとい  
われる茶がまも有名です。



善福寺

### ごくらくじ 極楽寺

温泉寺の後方に建っているお寺です。今の建物は1781  
年に建て直されたものです。このお寺には古くから、「太  
閻秀吉の湯浴みの跡」があるとのいい伝えがありました。  
平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災でこわれた寺の  
庫裏（台所）から、安土桃山時代の遺跡が発掘され、秀吉  
が造らせたと伝えられていた「湯山御殿」の浴室や庭園  
の跡であると確認されました。



極楽寺

### みょうけんじ 妙見寺

明治39年（1906年）に落葉山の山頂に仮殿が建てら  
れ、その後本殿が建てられました。本尊は、明治6年  
（1873年）に廃寺となった金剛寺に祀られていたもので、  
足利義満が寄付したものと伝えられています。山頂からの  
眺めはすばらしく、丹波篠山や須磨の辺りまで見渡すこと  
ができます。



妙見寺

### いなりじんしゃ 稲荷神社

1600年ほど前、舒明天皇が有馬に来られた時の住まい  
が、有馬町字杉が谷につくられ、その住まいの守護神とし  
て稲荷大神が祀られたのが、稲荷神社の始まりといわれて  
います。明治37年（1904年）に現在の場所に移されま  
した。近くの展望台からの眺めはすばらしく、有馬の名所  
の一つに数えられます。



稲荷神社



### 有間神社

昔から有馬郡で最も由緒ある神社として、「有馬総社」といわれています。715～716年の六甲山の洪水により、山口町下山口（現在の西宮市）から、現在の地に移されたといわれています。境内には、「有馬社」と刻まれた石碑が2基あり、クスノキの下にある1基は本殿が建てられた当時のものです。また、御旅所（祭礼で神輿が一時置かれる場所）には子安石があり、昔から安産の神様として信仰されています。

### 大歳神社

昔、二郎地区周辺には神社が無かったため、有間神社に付属する小さな神社を頼み込んでゆずり受け、現在の場所に祀ったものといわれています。毎年、10月には地元の人によって獅子舞が奉納されます。

### 公智神社

湯泉神社などとともに平安時代の「延喜式」に名を連ねる由緒ある神社です。木の神といわれる久久能智の神が祀られています。毎年10月に最も重要な祭りである「例祭（秋祭り）」が行われ、7台の山車が神社に入る様子は見ものです。



有間神社



大歳神社



公智神社



私たちのまちには、「ひょうごの森百選」に選ばれた森があるんだよ！

兵庫県では、兵庫県内の次代に伝えていきたい143の森や樹木を「ひょうごの森百選」として選び大切に守っています。有馬川の周辺では、有間神社の社寺林ツブラジイ群落（環境緑地保全地域）や公智の森（公智神社の森）が選ばれています。



ツブラジイ群落(有間神社)



公智の森(公智神社)

**魚屋道**

神戸市東灘区<sup>なだ</sup>の深江<sup>あしや</sup>から芦屋<sup>はし</sup>ロックガーデンの西の端にある尾根筋<sup>すじ</sup>を通り、風吹岩<sup>かぜふきいわ</sup>、横池、東おたふく山の雨ヶ峠<sup>あまがとうげ</sup>を経て、住吉谷の本庄橋で住吉道と合流して山上に至り、射場山尾根筋<sup>いた</sup>を<sup>いば</sup>通<sup>やま</sup>って有馬に至る道です。



魚屋道

**炭屋道 (炭窯跡)**

紅葉谷と魚屋道を結ぶ癒しの森遊歩道に炭窯跡(楕円形に石を積んだ跡)がたくさん残っていたため「炭屋道」と名付けられました。戦前まで炭が焼かれていたといわれています。



炭窯跡

**有馬への道**

鉄道ができるまでの有馬への道としては、東方向からは宝塚方面から生瀬・船坂を通り有馬へ、また西方向からは御坂・五社を通り有馬へ至る湯山街道<sup>ゆのやまかいどう</sup>を中心としていました。

そのほか、丹波道や魚屋道など多くの有馬へ至る道が利用されていました。



有馬周辺の道



**どうして、魚屋道って呼ばれたの？**

六甲山を越える道として、江戸時代の初めごろから、灘地方の大坂湾<sup>なだ</sup>でとれた新鮮な魚(昔の言葉で「とと」)を、有馬の旅館をめぐって運んでいた<sup>しんせん</sup>ので、「ととや(魚屋)道」と名付けられました。

この道は、今でもハイキングコースとして残っています。古い地図を見ると、これらの街道を中心として、道路が発達していったことがよくわかります。



六甲山を越える魚屋

(出典: 有馬山温泉小鑑、国立国会図書館蔵)



### あおいし こ ぶん 青石古墳

青石古墳は山の斜面に造られた円墳です。直径約13mで、内部には横穴式石室が築かれています。昭和41年（1966年）に発掘調査が実施され、器や釘が見つかりました。石室の形や出土遺物から、7世紀に作られたことがわかります。



青石古墳

### ずい ほう じ こ ばん 瑞宝寺公園・石の碁盤

瑞宝寺は江戸時代に建てられましたが、明治の初めに廃寺となりました。今は市の公園となっており、紅葉の美しい名所として親しまれています。

また、秋には大茶会が催されるほか、公園内には豊臣秀吉が愛用したといわれる石の碁盤があります。



瑞宝寺公園の様子

石の碁盤

### たかつか 高塚の清水

高塚の清水は有馬温泉の南の端にあり、豊臣秀吉がお茶をたてるのに愛用した水といわれています。

明治、大正時代の治水工事で清水までの道がなくなり、いつしか忘れられていましたが、平成14年（2002年）春、古文書を頼りに有馬保勝会の会員によって再発見されました。



高塚の清水



### 小学校のグラウンドに古墳があるんだよ！

鹿の子台小学校のグラウンドには、北神戸中学校の建設時に発見された古墳の石室が移され、保存されています。昭和55年（1980年）に調査が行われ、直径約15mの丸い古墳（円墳）とわかりました。古墳の中央には、人を葬るために石を積んで造った部屋（石室）が見つかりました。古墳の中のものは盗まれており、出てきたのはナイフのような刃物1点だけでした。石室の外には、お供えをするための器が置かれていました。調査の結果から、この古墳は今から約1,500年前に造られた、村の有力者のお墓だと考えられます。



### かめ おだき 亀の尾瀧

ゆけむり坂を少し登った左手の不動明王のそばにある亀のしっぽのような細い滝です。左手の岩には「暁櫻」と、江戸時代の京都の書家亀田窮楽の名前が刻んであります。付近にはイワタバコ、ユキノシタ、クサアジサイが自生しています。また、昔はこの下に水車小屋がありました。

### みずなしだに みずなしだき 水無谷・水無滝

水無谷は、普段あまり水の流れのないことから名のついた水無川の流れる谷のことです。しかし、ひとたび大雨が発生すると災害を起こす川になり、注意が必要です。上流の水無滝の周辺にはイワタバコが見られます。

### つづみ たき 鼓が滝

昔から有馬の名所として多くの人に親しまれている滝です。岩の間に落ちる水の音がまわりの山にこだまして、まるでつづみを打っているように聞こえることから、鼓が滝と呼ばれるようになったといわれています。



水無滝



鼓が滝



有馬川地域に関する本や資料を集めた「有馬文庫」や「山口町郷土資料館」があるんだよ！

「有馬文庫」は、日本最古の温泉である有馬温泉の資料や文献・地図・写真などを集約し、地域に埋もれている書物を掘り起こし保存するために創設されました。また、有馬を訪れた人にもっと有馬のまちの良さを知ってもらい、再び訪れてもらうために、有馬を案内できる人を育成するための「ふるさと案内人養成講座」などの支援も行っています。

「山口町郷土資料館」は、美しい自然と風土を持つふるさと「山口町」の文化遺産を、後世にまできちんと伝え残すために建てられました。遠く中世以前から現在までの数多くの資料が、見やすく収集保存されています。



有馬文庫



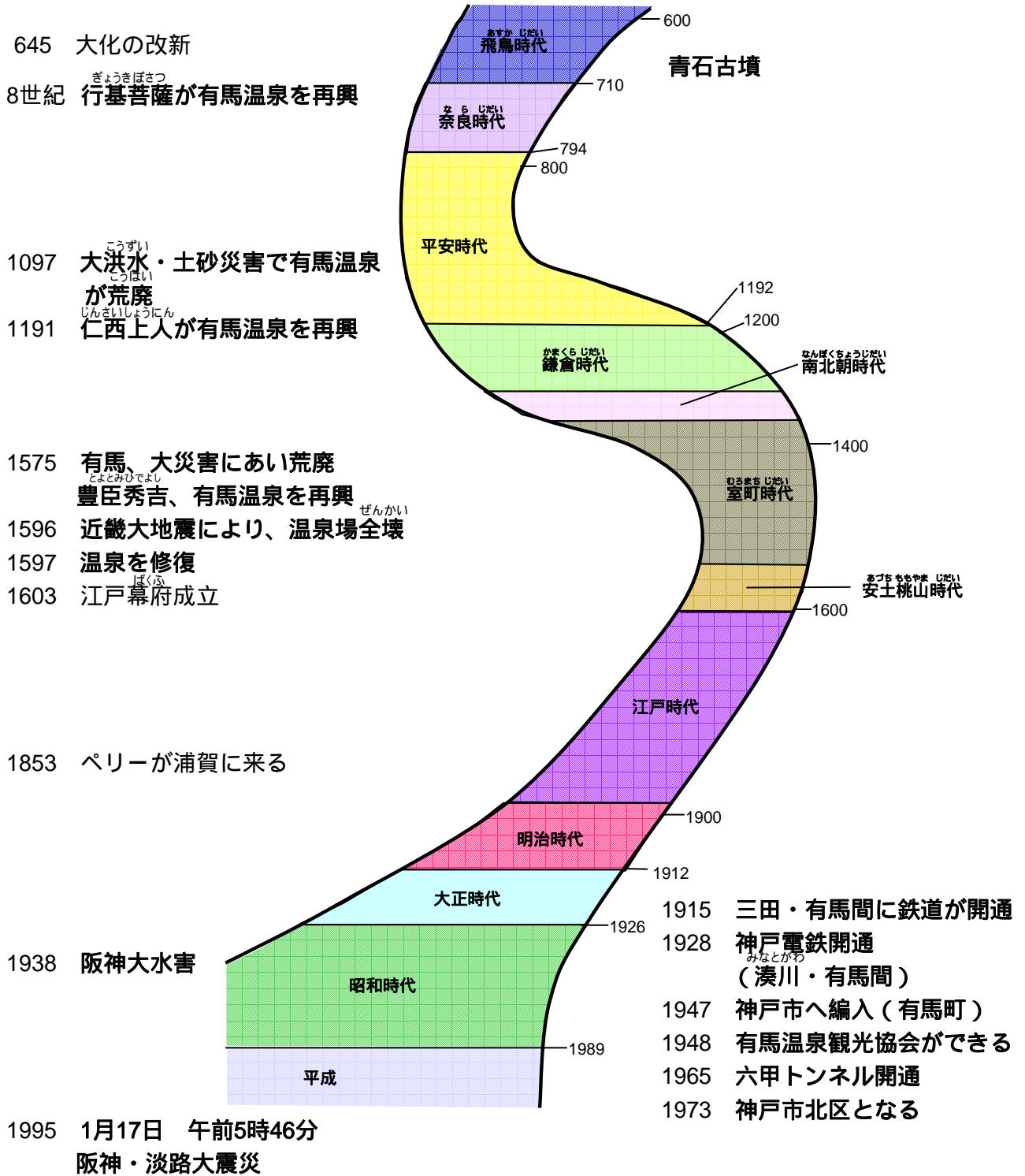
山口町郷土資料館



有馬文庫や山口町郷土資料館に行って、気になった有馬川地域の歴史について調べてみよう！



# 有馬 - 年表



### 2-3. 私たちのまちの祭りや地域の活動

私たちのまちは、古くから温泉街として栄えた有馬温泉周辺をはじめ、歴史と伝統のあるまちとして発展してきました。そのため、神社仏閣<sup>ぶつかく</sup>や歴史的な文化財<sup>ぶんわたい</sup>が点在するほか、多くの物語や文学の舞台にもなっています。

また、まちを流れる有馬川は、昔から人々の暮らしと深く関わっていました。川や六甲山の周辺には美しく豊かな自然があふれています。

私たちのまちでは、これらの自然や伝統文化を守り・伝え・育てていく様々な活動が行われています。



有馬川親水公園(有馬温泉さくらまつり)



## 2-3-1. 人々が集う有馬の祭り



マップ

6

8

18

4

有馬川地域では、有馬温泉入初式いりぞめしきや有馬涼風川座敷りょうふう かわざしき、公智神社秋祭りこうち じんじや、丸山稻荷神社まるやま いなり じんじやの八朔大祭はっさく たいさい、塩田八幡宮夏祭万灯祭しおたはちまんぐう まんとうさいなどたくさんのお祭りが開かれます。

## 有馬川上流の祭り・イベント

## 有馬涼風川座敷

7月下旬から1ヶ月間、有馬川親水公園しんすいで開かれる阪神・淡路大震災の復興のために始められたイベントです。川風に吹かれながら、すき焼きなどの食事や、大人から子どもまで楽しめる屋台やゲームのほか、特設ステージでは、有馬の「げいこさん」の踊りや音楽ライブが行われます。

## 沙羅の花と一絃琴の鑑賞会

6月中旬の3日間、沙羅の花の盛りのころに念仏寺で開かれます。わずか一日で落花する真っ白な沙羅双樹さらかんじゆは、一絃琴いちげんきんの調べとともに安らぎあたを与えてくれます。

## 有馬大茶会 / 献茶式

豊臣秀吉とよとみひでよしは有馬温泉にたびたび訪れて心身を癒いやしていました。有馬に滞在たいざいの時は、千利休せんりのきゆうらと茶会ちやかいを催し、あるいは地元の人たちを招いて、有馬の風流を楽しんでいたようです。このような故事にもとづいて、昭和25年（1950年）に茶の湯の心と有馬温泉の風情を多くの方に楽しんでいただくために、豊臣秀吉を偲しのぶ「有馬大茶会」が始められました。毎年11月2日、3日に瑞宝寺公園で行われています。また、大茶会にあたっては、善福寺ぜんぶくじにおいて有馬温泉の基礎きそを築きずいた豊臣秀吉に対してお茶を捧げる、献茶式が行われます。



有馬涼風川座敷の様子



一絃琴の鑑賞会

有馬大茶会の野点のたて（昭和50年（1975年）ごろ）



いりぞめしき  
入初式は有馬温泉の人たちにとって大切な祭りなんだよ！

「有馬温泉入初式」は、江戸時代から続いているもので、有馬温泉を発見されたと伝えられる大己貴命、少彦名命と、有馬温泉を再興された恩人である行基菩薩・仁西上人に、感謝と温泉の繁栄を願う儀式です。また、有馬の「げいこさん」が扮する湯女の練行列や湯もみなどを行う、新春を祝う行事でもあります。平成18年（2006年）3月には、「神戸市地域無形民族文化財」として認定されました。

行基・仁西両師の御像を初湯で洗い清める時刻、午前11時から、「金の湯」の入湯が開始されます。



有馬温泉入初式の様子

有馬川中流～下流の祭り・イベント

有馬川中流～下流でも多くの伝統行事が行われています。中流の西宮市山口町では、公智神社秋祭りのだんじりや有馬川緑道でのさくらまつりをはじめ、丸山稻荷神社の八朔大祭やトンドなどが行われています。また、下流の道場町では塩田八幡宮の夏祭万灯祭などの行事が行われ、それぞれ地域の人々に大切にされています。



八朔大祭(奉納相撲)



上山口のトンド



塩田八幡宮夏祭万灯祭

(出典：北区民まちづくり会議)



入初式や地域の行事のことを家族の人に聞いてみよう！



### 公智神社秋祭りのだんじり

公智神社の秋祭りは、毎年10月体育の日の前の日曜日に開かれます。秋祭りの主役は、なんといってもだんじりです。

西宮市山口町には、下山口、上山口に2基ずつ、金仙寺、中野、名来の各地域にそれぞれ1基、合計7基のだんじりがあり、秋祭りには勢ぞろいして、その勇壮な姿を見せてくれます。

各地区のだんじりは、午後1時ごろに地元を出発し、御旅所を目指して練り歩いて行きます。御旅所で、7基のだんじりが神社の神輿をお迎えし、神事の後に公智神社へ帰る神輿にだんじりが続きます。

そして、たくさんを見物人が見守る中、3時ごろからだんじりが1基ずつ宮入をしていきます。若者たちによって、鉦や太鼓の囃子もにぎやかに、宮の馬場を社前に向かって宮入する様子は、秋の一大絵巻です。

すべてのだんじりの宮入が終わると、山口町古文化保存会神楽舞曲育成部会による「神楽（獅子舞）」が奉納されます。

### 有馬川緑道でのさくらまつり

毎年4月第1土曜日に、有馬川緑道の平成橋から松栄橋までのエリアで、さくらまつりが開かれます。

さくらまつりは、桜なみ木の続く500m余りの遊歩道での、ゲームや飲食・物品販売などを内容としたお祭りで、地域や組織を超えた交流の場でもあります。

さくらまつりを支えているのは、社会福祉協議会など地域のボランティア組織と会場近くにある山口中学校関係者で、旧来の伝統行事と違い、新旧住民の共同のイベントです。

マップ 14 5



だんじりの様子



神楽(獅子舞)の様子



さくらまつりの様子

## 2-3-2. 有馬川での活動



私たちの身近な存在である有馬川は、年間に渡って市民に愛され、楽しまれ、親しまれる素晴らしい川です。夏には、川の中に入って遊ぶ子どもたちの姿が見られるなど、子どもたちの自然観察の場、市民の憩いの場としても親しまれています。



自然観察



散歩  
散策

(写真:地域ポータルサイト「西宮流」)



清掃活動



### 有馬小学校ではゲンジボタルの飼育や放流活動に取り組んでいるんだよ！

有馬小学校は「人に優しい有馬温泉・ホテル小学校」をめざして平成2年（1990年）より“有馬にホテルを呼び戻そう”と、神戸市環境局、地元自治会、有馬温泉観光協会と連携して、ゲンジボタルの飼育・放流活動を飼育栽培委員会を中心に全校児童で行っています。

#### 産卵

有馬川で採取したゲンジボタルを産卵させます。



#### ふか 孵化

乾燥しないように霧吹きで水分を与え、孵化させます。



#### 羽化

ゲンジボタルの幼虫は6月ごろに羽化し、有馬のまちを飛び交います。



#### 飼育

エサとなるカワニナを捕まえて、幼虫に与えます。



#### 有馬小学校での ゲンジボタルの 飼育サイクル

#### 放流

夏から育てたゲンジボタルの幼虫を2月ごろに有馬川へ放流します。



#### 成長

3 cmを超える大きな幼虫へと成長します。



家族や友達と清掃活動など、有馬川で行われる活動に参加してみよう！





有馬川中流の西宮市山口町では、地域ぐるみでホタルの保護活動を行っているんだよ！

自然豊かな西宮市山口町に流れている有馬川には、毎年5月末から7月ごろにかけてホタルが飛び交います。ホタルは一時期減りましたが、最近はまだ、少しずつ増え始めています。

今では、ホタルが飛び交う時期に、有馬川緑道の一部の街灯を消してホタルの繁殖環境を整えたり、川の除草作業の時期をホタルの飛ばない8月以後にしてもらうなど、地域ぐるみの保護活動を行っています。

毎年ホタルの時期になると、有馬川緑道などで子どもたちが描いたポスターを見ることができます。この運動のおかげで、ホタルを網で捕るような行動は減少しました。これらのポスターは、自然環境の保護活動に大きく貢献しています。

平成9年（1997年）には、ホタルウォークラリーが始まりました。

山口中央公園に集合し、ホタルや自然環境について学習した後、約2kmの道をホタルを観察しながら歩きます。

毎年参加者が増え、今では千人余りの人たちが参加します。



有馬川（中野高架橋付近）



子どもたちが描いたポスター



ホタルウォークラリー出発前の学習

### ホタル鑑賞のマナー

ホタルを捕まえないで。ホタルの寿命は短いです。自然の中で鑑賞しましょう。  
懐中電灯をホタルに向けることや、カメラのフラッシュはやめましょう。  
道路に駐車したり、大声を出したりすることはやめましょう。

## 2-3-3. 様々なまちづくり活動



マップ

6



私たちのまちには、どんなまちづくり活動があるのかな？

## 癒しの森パトロール

癒しの森（42P参照）とは、ロ-プ  
 ウェー有馬温泉駅から炭屋道・魚屋道を  
 へ経て、豊臣秀吉も愛したという紅葉の名  
 所「瑞宝寺公園」へ至る森林散策コース  
 です。この癒しの森を毎月1回、地域住  
 民、ボランティア、有馬小学校や有馬連  
 絡所などから大勢の人が集まって、パト  
 ロール（環境整備）を行っています。



癒しの森のパトロールでは、散策路のゴミ拾いや通行の妨げとなる石を取り除い  
 たり、土砂がたまった溝の掃除、休憩施設の清掃などを行っています。



ゴミ拾い



石の除去



溝の掃除



施設の清掃



### 有馬温泉ゆけむり大学

有馬温泉ゆけむり大学とは、(社)有馬温泉観光協会と大阪音楽大学・近畿大学・神戸芸術工科大学・武庫川女子大学の4大学が「つながり」をテーマに、若者の力で有馬温泉を活性化させようと平成21年(2009年)に始められた企画です。

これは、有馬温泉を舞台に「大学」を設け、健康や芸術などをテーマにした「講義」(イベント)を行い、訪れた観光客に楽しんでもらうことによって、観光客はもとより、有馬温泉で活動する人たち、参加した学生たちや指導教官が相互に影響を与え合い、成長する機会をつくろうとする試みです。

<http://arima-onsen.com/yukemuri/>



### 六甲山自然案内人の会

六甲山とそれに連なる山々の周辺で定期的に自然観察会を実施し、土・日・祝日には山の案内人として、ボランティアガイドを行っています。また、自然を守るために環境保全整備などの活動も行っています。

毎年、有馬川から六甲山に登るコースを使って、案内人養成研修を行っています。

<http://rokkosan.gotohp.jp/>



ボランティアガイドの様子

### 六甲山の自然を学ぼう会

六甲山やその周辺の地域の環境保全に関する事業を行い、自然を大切に作る心を育て、豊かな環境の保全を目的に活動しています。

<http://www.rokkosan-shizen.com/>



六甲山の自然を学ぼう会のHP



みんなで、まちづくりの活動に参加してみよう!